



主催者挨拶

公益財団法人 ヤマハ発動機スポーツ振興財団
理事長 木村隆昭

毎年、全国各地から多くのジュニア・ユースセイラー、指導者、保護者そして来賓の方々を浜名湖に迎え、主催者を代表して一言ご挨拶申し上げます。

本年も「第26回YMF Sセーリング・チャレンジカップ IN 浜名湖」がスポーツ庁、公益財団法人日本体育協会、静岡県、浜松市をはじめ多くの団体・企業の皆様方に、ご後援、ご協賛をいただき、そして安全で的確な大会運営に多くのスタッフのご協力を受け、昨年に引き続き「静岡県立三ヶ日青年の家」にてジュニア・ユースセイラーを迎え、開催できることは喜びに堪えません。

今回も前回に引き続き、独立行政法人日本スポーツ振興センターの補助を受け国内のセーリングスポーツ振興に貢献する大会として開催されます。その目的は、自然を相手にするセーリングスポーツを通して青少年の心身育成と、将来を担うセイラー諸君が、仲間と競い合う中で強い心と新しい技の挑戦にあります。そして『本格的なセーリングシーズンに入る前に自らの技量を再確認することで、今シーズンの新たな目標を設定する大会』として位置付け開催してきました。

近年、各地域で開催される競技会では、競技以外での学ぶ講習会等、積極的に行なわれるようになってきたと聞かれます。本大会の特徴である「競技」そして「学ぶ」が各地の大会で広がって来ている事を嬉しく思うと共に、ここ静岡県での開催から地域に多く発信することも大きな役割と考えております。また今年は2年ぶりにGPSを搭載し、陸上の保護者の皆様を含め、随時航跡分析をレース後に確認できるトラッキングシステムを導入する事で、より学びと交流を促進していきます。

今大会では、昨年に引き続き国際レーザー 4.7 級及びレーザーラジアル級の種目で世界選手権国内選考会を兼ね、また OP 級では全日本大会参加枠獲得もかねており、参加された選手が悔いのない競技を行ない、より大きく世界に羽ばたくことを願っております。選手の皆様におかれましては、浜名湖の自然変化に素早く・的確に対応し、日頃の練習成果を十分に発揮し、大会を通じて幅広い年代のセイラーとの交流と友情を育み、そして次への目標を見出されることを願っています。またご引率の指導者、保護者の方々におかれましては、レース後の勉強会にも参加いただき、専門的な視点からの指導の仕方、理論など、交流を通して新たな学びが生まれれば幸いです。

最後になりますが、本大会開催にあたり、ご支援、ご協力を賜った関係各位の皆様方に厚く御礼申しあげるとともに、参加される選手諸君、指導者、保護者の皆さんそして関係者にとって、絶好なコンディションの中、「参加して良かった。素晴らしい大会」と感じられることを願い主催者を代表しての挨拶といたします。



歓迎の言葉

NPO 法人 静岡県セーリング連盟
会長 加藤 敏純

第26回 YMFS セーリング・チャレンジカップ IN 浜名湖に全国から数多くのジュニア・ユースの選手、指導者、並びに保護者の皆様をお迎えして、今年もまた春爛漫の浜名湖で盛大にレースを開催出来る事を心よりお喜び申し上げると同時に厚く感謝致します。

出場される全ての選手が自然との闘いに挑み、ライバルと切磋琢磨し最後には自分との戦いに勝利し納得出来る結果を残され、レースが終わればお互いの友情を育み同じセーラーとしての絆を深めることを期待しています。

セーリングの世界のみならずマリンスポーツ全般、或いは陸の上も含めてアウトドアアクティビティーに日本の子供たちがもっと親しみをもってもらい、その活動を楽しみながら心身を鍛え成長し、あらゆる分野において世界で活躍する人が増えることを望んでおります。

そして2020年の東京オリンピック・パラリンピックに向かって日本中、そして全ての競技団体がいよいよ熱を帯びてきております今日この頃ですが、長年ジュニアセーラー育成に注力してきたこの大会からは是非とも代表選手が輩出されることを願ってやみません。

その為に安全で白熱したレースが展開できることを、地元の競技団体としてサポートしてまいります。

最後に本大会開催のためにご支援、御協力を賜った関係各位の皆様に深く敬意を表するとともに大会の成功を心より祈念して、開催地を代表する歓迎の言葉と致します。

ご 挨拶



公益財団法人 日本セーリング連盟
会 長 河 野 博 文

本年も多くのジュニアセーラーやユースセーラーが参加して「第26回 YMFS セーリング・チャレンジカップ IN 浜名湖」が静岡県立三ヶ日青年の家で、盛大に開催されることを心よりお喜び申し上げます。また、公益財団法人ヤマハ発動機スポーツ振興財団が、ジュニア育成に力を注ぎ、この大会を毎年続けて開催されていることは、日本のセーリング界にとってとても素晴らしいことと思っています。

日本各地から集まってきた若きセーラーの皆さん、日頃から練習してきた成果を発揮してフェアな精神で力いっぱい帆走し、素晴らしいレースをしてください。海では互いに切磋琢磨し、陸に上がってきたときは、お互いの友情を育んでください。

いよいよ2020年には東京オリンピックです。2020年に向かっては、去年は愛知県蒲郡で、今年から2020年までは神奈川県江ノ島で開催される国際セーリング連盟のワールドカップ・シリーズをはじめ、多くの国際大会や各クラスの世界選手権が開催される予定で、日本での国際レースが目白押しとなっています。今回参加されている選手の皆さんも、機会があれば、是非世界のトップ選手の活躍に触れみてください。また皆さんの中から、将来のワールドカップやオリンピック代表を目指す選手として、また世界のトップ・セーラーたちが満足するレース運営やジャッジングを行うレース・オフィシャルズとして、国際的に活躍する仲間たちが育っていくことを期待しています。

終わりに、本大会開催のためにご支援、ご協力を賜った関係各位の皆様には厚く御礼申し上げるとともに、この大会が好天に恵まれ、安全に運営され、参加選手の皆さんが存分に活躍されますことを祈念して、私のご挨拶といたします。